

(調査様式1)

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成29年8月14日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670103094
法人名	社会福祉法人 陽光会
事業所名	グループホーム しらゆり
所在地	鹿児島市高麗町21-19 (電話) 099-251-6633
自己評価作成日	平成29年7月18日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	平成29年8月2日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

3階建ての施設で、窓からは桜島が望める明るい施設です。近くに中学校があり、小学校の通学路にも面しているのにぎやかな声が聞こえてきます。

関連施設との交流もあり、開放的な環境の中で入居者様がお互いに協力や助け合いをしながら生活をされています。

季節のイベントや誕生日など毎日が思いでの1ページになるよう笑顔の絶えないホームづくりに取り組み、癒しの時間を大事に職員も入居者様とゆとりの時間を毎月持っております。またカラオケや脳トレプリント・手作りの時間などお一人おひとりにできるレクリエーションを行う事で、時間を有効に過ごしていただく工夫をしております。近隣には公園があり、天気の良い日はお花見や散歩に出かけております。

入居者様が介護を受ける身にとどまらず、お互いに助け・協力をしあえる関係づくりを大事にし、日々さまざまな取り組みを提供しつつ、生きがいや楽しみがある生活を送ることができるように、努力を重ねています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

「グループホームしらゆり」は公共交通機関の利便性のよい住宅地のなかに位置し、周辺には公園や中学校、専門学校、毎月1回のビハラ(癒しの時間)お寺参りの茶話会などもあり、近くには母体病院や同法人系列の施設もあるため、買物や散歩などで地域住民との挨拶や言葉を交わす機会の多い場所に在る。

3階建ての眺めの良いホームは、各階にこれまでの習慣を大切にするための仏壇を置き、安らぎを感じさせる配慮がある。2階には3階の状況を把握するためのモニターも設置され、利用者の見守りと安全が確保されている。

共有空間のリビングホールでは季節のイベントや誕生会が開かれ、脳トレーニングのドリル、カラオケで昔の記憶の活性化など、利用者職員と一緒に楽しめる工夫をしている。

職員は勉強会や研修会に積極的に参加し質の向上に努め、ケアサービスに活かす姿勢が窺われる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	ネームプレートやリビング・スタッフルームに提示し、定例会や朝の申し送りの都度、唱和を行い、ケアの見直しやスキルアップに努めている。	リビングやスタッフルーム、ネームプレートに掲げた理念は見直しがされ、分かりやすくなった。第1、第3、職員会議や定例会、朝の申し送り時に唱和することで常に立ち止まる姿勢であり理念の共有と実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に参加し、地域活動に協力を心掛けている。小学校での文化祭には入居者様の手作り品を出品、また当日は見学にも出かけ、地域の方とのコミュニケーションの場につないでいる。	町内会に加入し7月末から8月までのサマーボランティアの受け入れ、近隣中学校の福祉体験学習、小学校の文化祭に作品の出展、お寺の夏祭りに出かけるなど利用者が地域とつながりながら暮らせるように事業所が日常的に交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	近隣の方々とのコミュニケーションを図り、様々な相談ができる関係づくりに努めている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に1度の開催で、民生委員や地域包括・ご家族に出席をいただき、資質の向上につないでいる。	定期的に行われる運営推進会議は家族や利用者をよく知る関係者から率直な意見をもらい具体的に活かしている。他の家族も参加できる曜日の変更や、訪問マッサージの取り入れ、災害対策として警察や消防署などの参加も検討している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議参加の依頼や疑問等は電話や訪問時にお聞きしている	市町村担当者は運営推進会議に出席してもらい、事業所の実情を伝えたり、電話での問題解決を図りながら協力関係を築いている。市町村が開催する勉強会や研修会にも積極的に参加し情報の提供と共有に取り組んでいる。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	毎月の法人全体の勉強会や職員会議での議題として取り上げ、寝かせたつきり・座らせたつきりにならないように配慮している。個々の思いや心身状況を把握し、行動の制限や妨げになる事が無いように努めている。	法人全体での毎月1回の勉強会は年間計画のテーマも決められ、全職員は利用者の人権を守りながら身体拘束をしないケアに取り組んでいる。玄関を出るとすぐに道路、2階の非常口はらせん階段のため、家族の了承をもらい制限することもある、外出しがちな利用者は見守りと同行で自由な暮らしの支援になっている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	勉強会や職員会議で議題にあげ、身体虐待のみならず、言葉の虐待の無いよう、職員間でも注意・声かけしあえるようコミュニケーションを図り、虐待防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	勉強会や職員会議で、勉強の機会を持ち、必要性のある時は速やかに体制を整えられるように努力を重ねている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	見学や入居時に重要事項説明書の項目ごとに説明を行い、疑問や不安はその都度質問をお受けし、理解や納得が得られるように努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	2階3階に意見箱の設置。面会時や家族会で、独自のアンケートを無記名でお願いし、ご家族のご要望や意見をお聞きしている。	家族会や行事時に独自のアンケートをお願いし意見や要望を引き出すように努め、面会時にも気軽に伝えられるように配慮している。得られた情報は申し送りノートで話し合い、それらを運営に反映させている。今後は家族や利用者の立場に立った意見が出やすいように、居室にも連絡ノートを置く予定である。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎週1回の職員会議とカンファレンス、また朝夕の申し送りで、職員の意見交換を行い、運営に反映できるようにしている。	現場の職員の声を聞き運営に反映させるため、毎週職員会議や朝夕の申し送り時に気づきやアイデアの意見交換を行い、個人面談では勤務体制なども気軽に相談できる関係である。資格取得にも融通をきかせ職員間のコミュニケーションも取れている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	毎月1回開催される法人関係者でh報告や問題提起等を行い、職場環境の見直しや向上に努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>毎月1回の法人勉強会への参加や、外部研修への案内をし、スキルアップに努めている</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>毎月1回同法人系列のグループホームの管理者間での会議を開催。また他施設の方々・異業種の方との情報交換を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>ご家族様・本人様の事前面談等で要望や希望・不安や困りごとをお聞きし、本人様はもとより、ご家族様が安心していただけるよう、信頼づくりに努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>事前の面談を重ね、家族や本人の意向・思いをお聞きし、信頼関係づくりに努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>ご本人様・ご家族様の要望や意向を確認し、地域包括や福祉用具また民生委員に相談を行っている</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>食材の下ごしらえや洗濯物たたみなど、生活リハビリをできる範囲で行っていただきながら、時間の共有やお互いに協力し合える関係の構築に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	入居者様の日々の様子を1回/月発行の通信にてお知らせしている。面会時にはご本人様とゆっくりと過ごせるよう配慮している。また入居者様・ご家族様の要望や相談などは必要時行っている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	知人・友人の訪問や外出支援、公民館での文化祭に参加。馴染みの美容室への訪問など関係が途切れる事のないように支援している。	地域との接点を持ちながら関係を継続させるために、家族と行きつけの美容室や墓参り、友人知人の訪問もある。友人が利用者のお姉さんのお見舞いに連れて行く事もある。衣替え時には自宅に帰り外食を楽しんでいる。誕生日や父の日、母の日の外食もこれまでの大切な関係継続の支援である。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	座席に配慮し、入居者様同士が孤立することの無いよう配慮している。下膳や生活上の助言などできる方ができない方へのお手伝いをさせていただき支えあえる関係性を大事に支援している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院や退去された方やご家族様にも、面会・電話など行い、関係が途切れないように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人様やご家族・親族から生活の様子や意向の聞き取りに努め、本人様の思いや希望が表現できる環境づくりをしている。	職員は一人ひとりの思いや意向について感心をはらい、特に昔話のなかで汲み取っている。殆どの利用者は意志表示もあり希望を言われる。体調が悪くなり訪問が遠のいていた娘さんへの要望を伝えたり、希望のあった訪問マッサージの受入れ、訪問歯科など、暮らし方の把握に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	生活歴、馴染みの暮らし方など本人やご家族より情報を得、職員間で共有をすることで、より良いケアにつなげている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	申し送りの徹底や情報の共有を行い、1日の過ごし方やリズムを知り、心身共に充実した時間を過ごしていただけるよう支援に努めている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人・家族の意見・要望を伺い自分らしく生活ができるよう毎週の職員会議や朝夕の申し送りの際、課題や内容の見直し、ケア方法等計画作成に反映できるようにしている。	本人をよく知る関係者で気づきや意見を出し合い作成された介護計画はその人らしく暮らせるための個別のプランである。本人や家族の支援も記入され、職員会議や申し送り時に課題やケアのありかたが検討されている。家族の要望や変化にも柔軟に対応し現状に即した介護計画である。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	業務日誌や個別記録で、日々の様子やケアの実践を確認。申し送りや週1回の職員会議で情報の共有や確認を行い、支援や介護計画の見直しに活かせるように努めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人や家族の状況に応じて病院受診や医療処置の付添に柔軟な対応を図っている。また食事についても、個人個人や、状況に応じて必要な形態に対応している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ボランティアや学生の研修の受け入れ、民生委員との意見交換の機会を持ち、可能な限り地域での暮らしを楽しむことができるように努めている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	関連事業所の協力医だけでなく、メンタルクリニック、歯科医またかかりつけ医の訪問診療等を受け、個々にあった適切な医療が受けられるよう支援している。	入所前からのかかりつけ医と関連協力医の他にメンタルクリニックや他科訪問診療もある。家族の受診支援もお願いし、緊急時は職員が同行している。受診後は電話や文書で報告し職員も情報の共有を図り、適切な医療支援となっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>関連事業所の看護師やかかりつけ医との相談・助言をもらいながら心身状況の変化を早期発見でき、必要な受診や看護が適切に受けられるように支援に努めている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入院時に病院関係者に情報提供を行い、安心して治療ができるように努めている。またご家族とも連絡を密にとり、情報の共有を図るよう努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居時に重要事項にて説明を十分に行い、家族会や面会時等に相談の機会を設けるようにしている。またプラン見直し時にも確認を行うようにしている。</p>	<p>入所時に重度化した場合のホームのあり方を説明し同意を得て文書も交わしている。現在、家族から看取りの要望は無いが、自然と終末期を迎えた利用者もおり、今後は介護度が進むことを踏まえ看護師を交えた勉強会を開催し、家族の段階的なニーズに対応していく方針である。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>関連事業所の医療機関の協力や研修を行い、事故発生・緊急時の対応を全職員が同じ対応・同じレベルで行えるよう努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回の火災訓練を実施。消火器やエレベーターの点検を定期的に行い、訓練時は近隣の方にも声掛けを行っている。また避難訓練も行い、自然災害に備えている。</p>	<p>消防署立ち会いのもと防災訓練は年2回行われ、避難経路や避難場所も確保され、近隣住民への協力体制もできている。消火器の取扱いや定期的なエレベーターの点検、備蓄も完備され、今後は風水害の訓練も検討している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個人情報・プライバシー保護の研修やミーティングを行い、職員の間で言動に互いに注意し合える関係を築く。またプライバシー・プライドに考慮し入浴や排せつ介助を同性の職員が必要時行うようにしている。居室内のポータブルトイレの配置にも配慮を行っている。	利用者の誇りやプライバシーを損ねることの無いように、全職員は研修会や定例会で確認している。名前も「さん」付けであるが夫婦の入居者は本人の希望に合わせた声掛けであり、失禁時もさりげない誘導をしている。居室のポータブルトイレも配慮があり、個人情報もスタッフルームで管理され責任ある取扱いとなっている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の希望や意思決定が押し付けや決めつけでなく、2者択一など「選択肢」の提示など行い可能な限り自己決定ができるように配慮している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者の希望を優先に体調など考慮しながら、自室で横になる時間や起床時間などできる限り希望に添えるように支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	訪問美容室の利用で整髪ができ、その日に着られる衣類等も本人が選んだものを着衣できるように支援している。また化粧などのおしゃれも支援をしている		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	できる限り旬な食材を利用し、嗜好品の把握を全職員ができるよう常に情報の共有を行っている。また食材の下ごしらえや調理の補助・下膳のお手伝いなどできる事をしていただきながら、食への関心を持っていただくようにしている	季節の食材を利用し嗜好調査と栄養バランスのとれた食事の提供であり、食前には皆で嚥下体操をしている。きざみ食にとろみを付けていた利用者も、普通食に改善されている。食材の下ごしらえや下善の手伝い、ラッキョ、梅干作りなども力を発揮し食事を楽しむことのできる支援である。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分・食事量のチェック表を利用し、職員全員が把握しやすいようにしている。一人ひとりの嚥下や咀嚼状況を把握し、状態に沿った食事形態で提供できるようにしている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の歯磨きの声掛けや介助を行い、清掃保持に努めている。ケア用品の管理を行い、不足することの無いようにしている。また、希望者は定期的・必要時歯科医の訪問がある。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄記録を利用し、個々のリズムを職員が把握。できる限りトイレでの排泄を心がけ、排泄の自立に心掛けている。	排泄パターンや食事前の声かけなどで一人ひとりのリズムを把握し、トイレでの自立に向けた排泄支援を行っている。夜間のオムツ使用も減り、昼間のリハビリパンツから布パンツになった利用者は開放感と自信に繋がっており、習慣を活かしてトイレで気持ちよく排泄する支援を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分・排泄のチェック表を利用し職員全員が把握できるようにしている。メニューや食材・お茶に配慮し、個々に応じた予防ができるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	仲の良い同士の入浴や個人の好みのシャンプーを使用。個々の希望やタイミングに合わせた入浴を支援している。	一日おきの入浴であるが、毎日入浴も可能であり、仲の良い同志で入るかた、同性介助を希望するかた、個々に応じた入浴である。シャンプー、リンスも好みの物を使い、衛生、保湿ケア用品は個人用の透明ジッパーで準備され、くつろいだ入浴となるように配慮している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の生活の様子やリズム・体調を把握し、休息の時間がいつでも取れるよう配慮し、快適に過ごせるよう室温にも気を配っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	病歴や薬の効能・種類・副作用・服薬方法を全職員が常に理解・把握できており、日々の記録を付けておく。心身の状況に変化が認められるときは記録し、医療機関との連携をとっている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	楽しみや役割を持っていただく事で、生きがいのある生活が送れるよう支援している。家族にも外出・外泊支援に協力をいただけるよう連携を図っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天候により外出。合同行事に参加のため車での外出、季節の行事での外出など気分転換や季節感を感じていただけるよう、家族や地域の協力を得ている。	天気の良い日は近くの公園や甲突川沿いで外気浴を楽しみ、花見やお菓子と飲み物持参でドライブもある。月1回のお寺参りはビハラ(癒しの時間)で心を和ませ、年2回の餅つき大会は家族も楽しみな行事である。地域の協力を得ながら日常的に出かけられるように支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>入居時に本人や家族と金額や金銭方法について話し合い、本人の安心や満足が得られるように配慮をしている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話の使用時には、職員が席をはずすなどプライバシーに配慮し、手紙の代読を行っている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>個々の好みや趣味を把握し、音楽やテレビ、時にはカラオケなど楽しんでいただいている。季節ごとの花や飾り、イベント等で四季を感じていただく工夫をしている。動線の確保を行い安全な空間・居心地の良い共有空間となるように配慮を行っている。</p>	<p>玄関を入ると開放的な共有空間が広がり、明るく清潔である。エレベーター前の踊り場も広く四季を感じさせる作品が飾られ、各階には見守り用のモニターで利用者の安全を確保し仏壇も据えられ、安心が得られる空間となっている。ボランティアの受け入れやカラオケを楽しむ空間でもあり居心地よく過ごせるような工夫が見られる。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>仏壇や神棚による心の安定する空間や時間を持ち、テーブルや椅子を設置することで家族との歓談や仲の良い方と過ごせる、または相談がゆっくりできるスペースづくりをしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	事前に家族や本人様との面談で情報を得、家族に使い慣れた家具や日用品を準備していただいたり、仏壇や家族の写真等を飾り、本人にとってできる限り居心地の良い居室づくりを工夫している。	居室は明るく窓も広い。防災カーテンで室内を落ち着かせ、ベランダは利用者に生活感を得られるように洗濯物が干せる作りである。これまでの使い慣れた馴染みの物を置き、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下やトイレには手すりが設置。身体状況にそった補助具を家族や福祉用具業者と相談しながら使用し、身近な事柄でできる事を探りながら、無理の無い範囲で行っていただけるようお手伝い・見守りを行い、できる限り自立に向けた生活が遅れるよう支援している。			

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない